

2020年5月31日（日）ペンテコステ（聖霊降臨日）

銀座教会 主日家庭礼拝

礼拝招詞

「その後 わたしはすべての人にわが霊を注ぐ。

あなたたちの息子や娘は預言し、老人は夢を見、若者は幻を見る。」

ヨエル書3章1節

主の祈り

天にまします我らの父よ、願わくはみ名を崇（あが）めさせたまえ。

み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧（かて）を今日も与えたまえ。

我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄とは限りなく汝（なんじ）のものなればなり。

アーメン

讃美歌 154 地よ、声たかく 告げ知らせよ

聖書 使徒言行録2章1～4節

1 五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、2 突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。3そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。4すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話しだした。

牧会祈禱

天の父なる神さま。ペンテコステ・聖霊降臨日を迎えました。今年は、私たち共に御堂に集うことができません。けれども、教会の誕生も、弟子たちが小さな家で心を合わせて主を礼拝し祈っていたところから始まりました。各々の場でお捧げしている家庭礼拝を祝福してください。弟子たちに注がれた主の聖霊をまた私たちに、世界の諸教会に豊かに注いでください。私たちが安心して御堂に集えるようになりますように。病の中で苦しむ方に、癒しの御手をのべてください。新型コロナウイルスのために、働き・務めるお一人一人を支え・守り導いてください。愛する教会に連なるお一人お一人をあなたがこの一週間も支え、恵みを注いでください。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

聖歌隊奉唱 聖霊の炎は (チャールズ・ウェスレー讃美歌)

説 教・祈祷

「神の言葉によって踏み出す」

藤田健太 伝道師

4月12日、日曜日の朝、私たちの教会は一つの決断をしました。教会でお捧げする主日礼拝を家庭礼拝に切り替え、ウイルス感染のリスクを最小限におさえつつ、プログラムやオンラインによる配信を通じて礼拝を守り続ける決断でした。礼拝を新たな仕方で守り続ける私たちの決意は、主のご復活をお祝いするイースターの日から始まりました。復活の主に向かって新たな礼拝をお捧げしようという弟子たちの決意も、イースターの日から始まりました。「彼らはイエスを伏し拝んだ後、大喜びでエルサレムに帰り、絶えず神殿の境内にいて、神をほめたたえていた」。ルカによる福音書24章50節以下は、復活の主と出会う変えられた弟子たちの様子をそう伝えます。主の復活の日から50日が経ちました。弟子たちは「五旬祭」の朝を迎えます。あの決断の日から50日を経て、私たちもまた、ペンテコステの朝を迎えました。復活の主に向かってひれ伏し、新たな礼拝を捧げ始めた弟子たちに応え、神様はその日、聖霊による御力を注いでくださいました。家庭礼拝への移行から50日を経た今日、私たちもまた、新しい礼拝をお捧げしてゆくための力を、神さまからいただきたいと思ひます。

—「五旬祭」の古い起源は、麦の刈り入れを祝う収穫の祭りであったと言われます。初代のユダヤ教の伝統において、シナイ山での律法授与の出来事がそこに結びつきました。生きるすべを知らなかった民たちに、律法に従って生きる道が示されました。危機の中にある民たちの上に、生活の規範となる神様の言葉が与えられました。その出来事を感謝する祝いが「五旬祭」であると理解されるようになりました。神さまは民を救うために下ってきてくださいました。契約を結び、神と人との関係を推し進めてくださいました。人間が生きるための指針を与えてくださいました。それらすべての出来事の“しるし”として、シナイの山は激しく揺れ、神の火があたり一面を包んだことが、出エジプト記19章以下に語られます。ペンテコステの出来事は、かつて、シナイの山の上に生じた出来事を彷彿とさせます。激しい風の大音声によって家全体が激しく揺れました。神の火が分かれ分かれに現れ、その場の一人ひとりの上に留まりました。一同は聖霊によって満たされ、霊が語らせるままに、「ほかの国々の言葉」で話し出しました。かつて「石の板」の上に言葉が与えられたように、人々の口の上に言葉が与えられました。シナイの山で結ばれた古い契約が、更新された瞬間でした。復活の主に向かってひれ伏し、今後の新たな導きを求めた信仰者たちのうえに、聖霊が注がれ、信仰者一人ひとりが、生きるための新たな言葉を獲得したのです。

「ほかの国々の言葉」というのは、原文ではもっと単純に「異なる言葉」と書かれます。「異なる言葉」というのは、「ほかの国々の言葉」と理解することも確かにできます。巡礼にやって来た各地のユダヤ人たちが、それぞれの故郷の言葉を思い思い

にそこに聞いたという以下のエピソードが示している通りです。同時に「異なる言葉」には、「ほかの国々の言葉」以上の含蓄があります。それは、人間の力では決して語り出されることのない言葉です。聖霊の御力によって始めて語る事が可能となる言葉です。復活の主にひれ伏し、今後の新たな展望を願い求めた民たちに応え、神様が新たに与えてくださった言葉です。言うなれば、それは「新しい言葉」です。「復活の主を信じ、新しい生命を生き始めた者たちの言葉」です。ペンテコステの日に与えられた「新しい言葉」をたずさえて、使徒たちは続々と、宣教の旅へと出かけてゆきました。その日以来、使徒たちの上に留まりつづける御霊が、新たな命の局面を切り開かせるような、大胆な神の言葉を、彼らに語らせました。ペトロが、ステファノが、パウロが、そのような神の言葉を語りました。

神様の言葉は、危機的な状況に置かれた人々の間で、もっとも鮮やかに力を発揮しました。行き詰った危機的な状況に希望を与え、新たな命の局面を切り開きました。ペンテコステの出来事を目撃した人達の中に、「彼らは酒に酔っているのだ」と嘲る人たちがいました。礼拝は誤解され、神様と人々の関係が危機に陥りました。「礼拝の危機」です。このような危機に瀕した時、ペトロを通して神様の言葉が語られました。ペトロは旧訳聖書ヨエル書を引用しながら、ペンテコステが神様の約束にもとづく正当な出来事であることを力強く証しました。殉教者ステファノの最期は悲しみに満ちたものでした。同時にそれは慰めに満ちた最期でもありました。ステファノが陥ったのは「生命の危機」です。危機に瀕したステファノを通して、イスラエルの歴史全体を貫く神様の愛が語られました。ステファノは「聖霊に満たされ、天を見つめ、神の栄光と神の右に立っておられるイエスとを見ていた」とあります。聖霊の御守りは、一時もステファノから離れることがありませんでした。ステファノの石打刑に賛同したパウロは、無実の人を死に至らしめる罪の同調者となりました。パウロが陥ったのは「人間性の危機」です。人間性を失ったパウロが、神様の言葉に赦され、神様の言葉に癒されました。そうして新たな命を生き始めました。地中海世界を歩き巡る、キリストの偉大な使徒に生まれ変わったのです。

ペンテコステの日、神さまから注がれた霊は、そこに集まる一人ひとりの上に留まりました。そして、それぞれの生涯の中で、それぞれの状況の中で、危機を打開するため、神様の栄光を表わすため、豊かに語り出しました。神さまの言葉は、それぞれの危機の状況の中で語られました。その神様の言葉が、キリストを証し、キリストの教会を拡大し、今日の教会を打ち建ててきました。

ペンテコステの日、使徒たちの上に注がれた霊は、私たちの上にも与えられています。私たちの上には、生ける神様の霊による導きがあります。私たちは神様の霊に導かれ、私たちの時代の危機のなかで神様の言葉を語ります。そうして、神様の栄光を表わします。コロナウイルスの禍中であって、私たちは新しい生命の希望のなかを歩み出したいと願います。

【祈祷】天の父なる神様、ペンテコステの礼拝の時を感謝いたします。復活の主に向かってひれ伏し、新たな礼拝の時を待ち望む私たちの上に、あなたは御霊による導きを与えてくださいます。私たちは一人ではありません。私たちの上にいつも留まっている御霊の導きを思わせて下さい。不安の中で黙することしかできない時こそ、あなたは私たちの口に新しい命の言葉を授けて下さいます。危機のなかにある私たちは、あなたを力強く称えることができます。この礼拝から始まる1週間、御霊の導きを信頼して歩むことができますように。新しい年度の教会の歩みも、御霊の導きのうちに進めることができますように。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。 アーメン

祈 禱（各自、自由にお祈りください）

祈祷課題 世界の教会が御霊の導きを信じて歩めますように
新型コロナウイルスで苦しむ者に癒しと慰めを
礼拝堂に集まって礼拝をささげる日のために

讃美歌 196 うるわしきは 神のみとの

献 金

頌 栄 544

祝 禱

主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主が御顔を向けてあなたを照らし あなたに恵みを与えられるように。

主が御顔をあなたに向けて あなたに平安を賜るように。

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、

あなたがた一同と共にあるように。

アーメン